

具体的方策（ロードマップ）の柱	委員からのご意見	対応
1 安定供給	<p>○（局所的・一時的）欠品等の問題に対する関与の仕方の取組例として、（局所的・一時的）欠品情報の共有の仕方の具体化、卸業者からの協力等、より具体的・現場に直結した例（提案）を挙げることは可能か。</p> <p>○安定供給が項目に入りよかった。安定供給に関する情報提供の面で協力したい。</p>	<p>○欠品等の問題についても、調査の中で確認していく。</p> <p>○ご意見を参考に、安定供給に関する取組を進める。</p>
2 品質に対する信頼性の確保	<p>○「品質に対する信頼性の確保」という表現は、「品質の信頼性」と関係者の（品質に対する）「信頼」を併せて表現しようとしていると思うが誤解を生む可能性がある。</p> <p>○「前期高齢者からの高齢者」も対象者に含めるとよい。</p> <p>○ジェネリックの使用が進まないなので、対象者に子供を入れることはとてもよい。後発医薬品のメリットを広報できるとよい。</p>	<p>○ご意見を踏まえて、令和3年度以降の方向性（案）を「後発医薬品の品質の確保及び都民・医療関係者の後発医薬品の品質に対するさらなる理解促進に向けた取組」と修正した。</p> <p>○ご意見を参考に普及啓発等の取組を進める。</p>

協議会委員からの主なご意見

具体的方策（ロードマップ）の柱	委員からのご意見	対応
3 情報提供の方策	<p>○適切な例があれば、安定供給についての情報提供の方策も実例に加えてはいかがか。</p> <p>○令和元年度のアンケートで後発医薬品を使いたくないと回答した人のうち5.4%の方は「自己負担額がなくメリットを感じないため」という理由を挙げている。後発医薬品の使用と保険料、医療保険との関係を正しく理解してもらえような情報提供が重要。</p> <p>○かかりつけ医から患者に勧めていただくことが最も効果的と思う。また、お薬手帳の活用は効果が大いと思う。</p>	<p>○卸団体の調査の結果を踏まえて検討する。</p> <p>○令和元年度のアンケート結果をもとに作成した後期高齢者向けリーフレットにおいて、後発医薬品の使用が保険料負担の軽減や医療費削減につながることを記載した。今後も、ご意見を参考に普及啓発等の取組を進める。</p> <p>○令和元年度のアンケート結果をもとに、患者への説明方法などを解説した医師会・薬剤師会向けの手引きを作成した。令和2年度も、医師、薬剤師に向けた講演会を行う予定。今後も、ご意見を参考に医療関係者に対する情報提供等の取組を進める。</p>
4 使用促進に係る環境整備	<p>○区市町村の取組への支援として、医師との連携について強化をお願いします。</p> <p>○差額通知は期間が限られるため、健康情報サイト（WEBやアプリ）での確認を促進することも効果的である。</p> <p>○都内に約900か所ある地域子育て支援拠点で、一斉にシールを配布すること等子育て世代にも啓発が必要である。</p>	<p>○令和2年度は、ジェネリックカルテを作成し、把握した内容は、活用方法例等とあわせて区市町村に提供するほか、医師会・薬剤師会と共有し、区市町村における地域の関係機関と連携した取組を推進している。今後も、ご意見を参考に保険者の取組への支援を進める。</p> <p>○ご意見を踏まえ、「保険者協議会と連携した差額通知事業の事例共有」を「保険者協議会と連携した差額通知事業等の事例共有」に修正する。なお、令和元年度、保険者の取組状況などを「後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート結果」とりまとめ、保険者協議会に報告した。</p> <p>○各保険者が加入時や保険証送付時等に希望シールを配布しているところであるが、被保険者の手元に確実に届くよう、今後、保険者の取組の参考として、保険者協議会でご意見を情報提供する。</p>